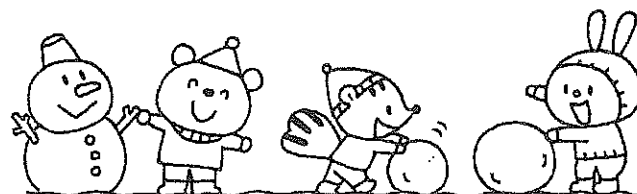
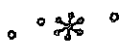




## 保護者アンケートに対する園の見解



| 自由記述より  | 園の見解   |
|---|--|
| <p>・園の駐車場で、保護者の方同士が立ち話をしていたすきに、バックしている車の後ろに子どもが飛び出してきたことがあった。飛び出したお子さんの保護者の方はお話を夢中で気がついていない様子だった。とても危険だと感じていたため、年度途中で園から駐車場の安全についてのおたよりが出たことはありがたかった。今後も年度始めだけでなく、時々呼びかけていただけるとありがたい。</p> | <p>・園の駐車場でのマナーについては、たくさん保護者の方から同じようなご意見をいただいております。何かあってからでは遅いので、保護者の方一人一人の安全に対する意識向上のため、定期的の手紙やメール等で園から伝えていこうと思います。</p>  |
| <p>・ゆうぎ会や運動会、園での様子を、他の子どもの顔がわかる形でSNSに載せている保護者の方がいる。園行事での個人撮影の写真や動画について、何かルールがあれば安心だと思う。</p>   | <p>・園はホームページに個人情報を掲載させていただくために同意をいただいておりますが、<u>保護者の方がSNSに園行事等の写真や動画を掲載する場合は、自分のお子さん以外のお子さんや職員は個人を特定できないように加工してくださいますようお願いいたします。</u>このような時代に、園としてSNSのルールを決めておらず、すみませんでした。入園（進級）のしおり等で今後しっかり周知していきたいと思えます。</p> |
| <p>・いつも娘のことをよく見て、その日何があったかなど細かく教えていただけるので感謝しかない。すくすく娘が育つようこれからもよろしくお願ひします。いつも本当にありがとうございます。<br/>(ひよこ組保護者)</p>   | <p>・ありがとうございます。今後も全職員がそのように思っただけのよう、職員一同力を合わせてお子さんを理解し、安心安全な園生活の中で一人一人が成長できるような教育・保育を行っていきたくと思えます。</p>   |
| <p>・地域のイベント活動を一緒に取り組む事は、他の園ではなかなかないことなので、向陽こども園で過ごせている事に感謝している。1日1日、子どもの成長につながっている活動などいつもありがとうございます。</p>  |  |



## <園関係者評価委員の先生方より>

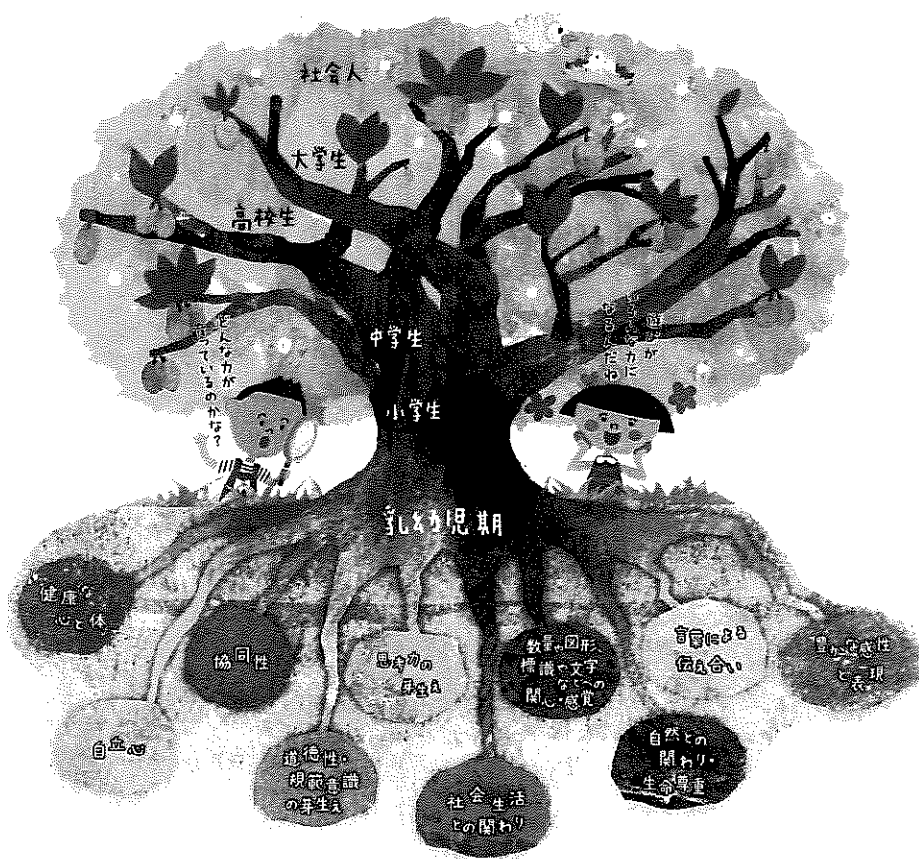
- 大館市立釈迦内小学校 校長 佐藤 潔 様
- 大館市立北陽中学校 教頭 藤原 寿準 様
- 株式会社 一途 代表取締役 木津谷 千春 様

3名全員が参加して下さいました。

- ・園では幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿に添った育ち（※下部のイラストの根っこの部分の姿）が見られており、その育ちが小学校まで繋がっていることを実感している。幼保小連携の交流を地域に広く公開し、保護者の方にもその良さを伝えていきたいと思う。
- ・いつ園に来て、子ども達が自分でやりたいことを見つけて遊んでいる姿はとても良いと思う。
- ・小学校との接続が進んでいるようだが、中学校や生徒ができることがあれば協力していきたい。（乳幼児期から大切なメディアコントロールの問題など。）
- ・保育について、園行事についての評価が高いのは、毎日子ども達が元気に遊び日々成長し、先生方が保護者の方と信頼関係を築いた結果なのではないかと思う。

## <来年度へ向けて ～園が取り組んでいきたいこと～>

- ・保護者の方の評価が昨年度より高くなったことはありがたく受け止め、今後も子ども達一人一人を、保護者の方と共に育てていけるよう、職員一同協力して教育・保育をしていきたい。
- ・幼保小連携の取り組みや大切さを、保護者の方にも理解してもらえそうな取り組みをしていきたい。
- ・特別な支援を必要とする子が多くなってきているので、関係機関と連携し、子どもや保護者の方の困り感を少しでもなくするよう援助していきたい。



乳幼児期は、「生きていく力」を蓄える大切な時期です

人の育ちを木に例えると、乳幼児期は根っこの部分。この時期の子どもたちは、知識を学ぶよりも、身体を使い、五感で感じとり、自ら興味を見出し、探究心を広げていきます。乳幼児期に身につく力は、誰かに教えられるのではなく、遊びに没頭するなかでこそ培われるものです。幼稚園、こども園では、遊びを通じてヒト・モノ・コトに関わり、子どもたちが自らの力で考え、行動できる保育、環境づくりに努めています。